

桐生繊維業界の実態

平成4年1月～12月

桐生市繊維振興協会

桐生市繊維業界の概況

1.	調査対象団体数	20団体（桐生商工会議所繊維部会除く）
2.	産地収入	(昨年比較)
	(1) 生産高	627億 525万円 (143%)
	(2) 加工収入高	148億9,535万円 (66%)
	(3) 販売高	225億1,172万円 (92%)
	合計	1,001億1,232万円 (110%)
3.	総組合員数	1,109事務所
4.	総従業員数（家族従業員含む）	7,139人
5.	一事業所当り従業員数	6.4人
6.	一事業所当り生産販売加工高	9,027万円
7.	その他参考	
	54年産地収入	1,078億 1,166万円 (100)
	55年	1,170億 6,380万円 (109)
	56年	1,110億 8,757万円 (103)
	57年	1,083億 3,093万円 (101)
	58年	1,023億 634万円 (95)
	59年	976億 1,960万円 (91)
	60年	917億 1,760万円 (85)
	61年	853億 4,182万円 (79)
	62年	804億 5,848万円 (75)
	63年	783億 8,548万円 (73)
	元年	841億 7,076万円 (78)
	2年	931億 1,687万円 (86)
	3年	908億 7,740万円 (84)

1. 組合員数及び従業員数

所 属 団 体		組合員数 事業所	従 業 員 数				計	従 業 員 平均年齢
			従 業 員		家 族 従 業 員			
			男 人	女 人	男 人	女 人		
桐生織物(株)	広幅協議会	420	265	282	396	584	1,527	51
	内地協議会	195	530	850	63	78	1,521	51
桐生織物商業(株)		10	28	23	0	3	54	41
桐生織物産地元売(株)		21	43	25	4	7	79	44
両毛輸出織物整染(有)		27	472	224	41	26	763	51
桐生染色(株)		37	210	36	17	21	284	47
桐生繊維製品(株)		63	280	844	25	40	1,189	37
桐生糸商組合		17	40	23	19	14	96	42
東日本編レース(有)		26	52	60	30	22	164	46
桐生燃糸(有)		34	6	37	37	40	120	57
両毛輸出スカーフ組合		10	6	8	10	8	32	-
桐生織物整経(株)		61	3	24	71	66	164	59
桐生意匠(株)		37	11	6	5	11	33	44
桐生紋紙(株)		21	16	2	28	20	66	-
東毛ジャガード刺繍(株)		12	25	35	14	21	95	34
桐生刺繍商工業(株)		75	191	325	130	139	785	41
桐生金銀糸(株)		13	30	10	0	6	46	47
桐生織物買継商友会		21	10	3	22	21	56	37
群馬県綿スフ織物(有)		89	148	189	25	40	402	45
(株)シルク・ルネッサンス桐生		15	0	0	8	1	9	54
桐生テキスタイル産業グループ		9	30	35	0	0	65	35
計		1,109	2,248	2,852	912	1,127	7,139	-

- 注 (1) 桐生織物(株)の組合員数の数字は、群馬県綿スフ織物(有)の89事業所を含む。
(2) (株)シルク・ルネッサンス桐生は、他の組合と重複しているので、計算に含まず。
(3) 平成4年11月17日桐生繊維製品(株)と桐生婦人子供服製造(株)が合併。

2. 生産、加工高及び受注（出荷）先区分（工業部門）

単位 万円

所 属 団 体		生 産 高	加 工 高	計	昨 年 比 較	取 引 先 区 分	
						県 内	県 外
桐 生 織 物 (協)	広 幅 協 議 会	1,304,276		1,304,276	% 97	% 0	% 100
	内 地 協 議 会	784,520		784,520	95	2	98
両 毛 輸 出 織 物 整 染 (公)			588,820	588,820	108	48	52
桐 生 染 色 (協)			183,295	183,295	99	58	42
桐 生 織 維 製 品 (協)		2,484,800	101,867	2,586,667	332	0	100
東 日 本 編 レ ー ス (公)		594,380		594,380	96	52	48
桐 生 撚 糸 (公)			25,840	25,840	78	90	10
桐 生 織 物 整 経 (協)			30,664	30,664	98	90	10
桐 生 意 匠 (協)		30,178		30,178	91	72	28
桐 生 紋 紙 (協)		36,000		36,000	93	93	7
東 毛 ジャ ガ ー ド 刺 繍 (協)			84,633	84,633	97	3	97
桐 生 刺 繍 商 工 業 (協)		384,275	474,416	858,691	68	5	95
両 毛 輸 出 ス カ ー フ 組 合		21,600		21,600	90	0	100
群 馬 県 綿 ス フ 織 物 (公)		230,496		230,496	87	0	100
桐 生 テ キ ス タ イ ル 産 業 グ ル ー プ		400,000		400,000	100	100	0
計		6,270,525	1,489,535	7,760,060	167	16	84

3. 販売高及び出荷先区分 (商業部門)

単位 万円

所属団体	販売高	昨年比較	桐生市内	県内	県外
桐生織物産地元売(協)	466,967	108	0	0	100
桐生織物商業(協)	350,625	98	8	0	92
桐生糸商組合	1,040,000	85	67	3	30
桐生金銀糸(協)	155,000	86	80	10	10
桐生織物買継商友会	238,580	97	0	0	100
計	2,251,172	92	38	2	60

4. 内需向,輸出向区分

単位 万円

所属団体	内需向		輸出向		計
	金額	割合	金額	割合	
桐生織物(協)広幅協議会	1,013,635	78	290,641	22	1,304,276
桐生織物商業(協)	216,942	62	133,683	38	350,625
両毛輸出織物整染(社)	478,187	81	110,633	19	588,820
桐生染色(協)	136,555	75	46,740	25	183,295
桐生繊維製品(協)	2,586,667	100	0	0	2,586,667
桐生刺繍商工業(協)	857,331	99	1,360	1	858,691
桐生金銀糸(協)	155,000	100	0	0	155,000
両毛輸出スカーフ組合	1,512	7	20,088	93	21,600
桐生織物整経(協)	25,800	84	4,864	16	30,664
桐生意匠(協)	27,158	90	3,020	10	30,178
桐生紋紙(協)	31,680	88	4,320	12	36,000
群馬県綿スフ織物(社)	229,344	99	1,152	1	230,496
計	5,759,811	90	616,501	10	6,376,312

団体名	品 目				
	割 合	割 合	割 合	割 合	割 合
両毛輸出スカーフ組合	スカーフ				
	100				
桐生織物整経(協)	整 経				
	100				
桐 生 意 匠 (協)	帯	インテリア	金 欄	洋 反	そ の 他
	20	20	25	17	18
桐 生 紋 紙 (協)	紋 紙	エンドレス			
	50	50			
東毛ジャガード刺繍(協)	ワッペン	T シャツ	ワンポイント 刺 繍	袋物・小物	そ の 他
	45	21	12	9	13
桐生刺繍商工業(協)	婚礼関係	ブラウス 加 工	婚礼加工	ハンカチーフ	雑 貨
	37	24	15	13	11
桐 生 金 銀 糸 (協)	金 銀 糸	関連製品			
	90	10			
桐生織物買継商友会	帯	二次製品	着 尺	広巾・服地 そ の 他	
	63	32	1	4	
群馬県綿スフ織物(公)	衛生材料	婦人服地等			
	85	15			
桐生テキスタイル 商業グループ	婦人服地	そ の 他			
	80	20			

6. 生産加工部門の現有設備状況

所属団体	設備名	数量	所属団体	設備名	数量
桐生織物協 (内地協議会)	広巾織機	136	桐生織物 整経協	整経機	76
	並巾 "	1,258		ワインダー	4,245
	小巾 "	236		計	4,321
	レピア "	214	桐生意匠協	拡大機	34
	計	1,844		コピー機	19
桐生織物協 (広幅協議会)	超自動織機スルーザー	66		コンピュータ	22
	" レピア	733		パンチング	10
	自動及び普通織機	2,222	計	85	
	計	3,021	桐生紋紙協	ピアノマシン	60
両毛輸出織物 整染協	精錬漂白機	87		裁断機	25
	乾燥機	123		編機	38
	染色機	158		ワンパンチ	27
	仕上機	72		その他	69
	計	440		計	219
桐生染色協	染色機(常圧噴射式)	134	桐生刺繡 商工業協	横振りミシン	1,010
	" (高圧 ")	44		ジャガードミシン	1,790
	" (汎 ")	46		計	2,800
	チーズ及びチーク	71	群馬県綿スフ 織物協	広巾普通織機	496
	計	295		小巾 "	262
桐生繊維 製品協	縫製ミシン	1,520		超自動レピア	49
	プレス	76		ガラス繊維織物 (規則外・レピア4台含む)	0
	裁断機	82		計	807
東日本編レース協	ラッセル機	187	桐生燃糸協	イタリー式燃糸機	124
東毛ジャガード 刺繡協	ジャガードミシン	65		合燃式 "	57
桐生燃糸協	アップワインダー	8		アップワインダー	8
	長谷式	3		計	192
	計	192			

7. 最近の推移 (4年10月~5年1月)

所属団体		受注・引合の状況				販売(加工)単価の状況			
		増	変わらず	下降	前年対比	上昇	変わらず	下降	前年対比
桐生織物協	広幅協議会			○	92		○		100
	内地協議会			○	95		○		100
桐生織物商業協				○	80			○	70
桐生織物産地元売協				○	80			○	70
両毛輸出織物整染(公)				○	100			○	100
桐生染色協				○	90		○		100
桐生繊維製品協				○	100			○	100
桐生糸商組合				○	80			○	80
東日本編レース(公)				○	95			○	96
桐生撚糸(公)				○	77			○	90
両毛輸出スカーフ組合				○	60			○	70
桐生織物整経協				○	98		○		100
桐生意匠協				○	90		○		100
桐生紋紙協			○		95			○	95
東毛ジャガード刺繍協				○	90			○	98
桐生刺繍商工業協				○	60			○	65
桐生金銀糸協				○	85		○		90
桐生織物買継商友会				○	90			○	90
群馬県綿スフ織物(公)			○		100		○		100
桐生テキスタイル産業グループ				○	95		○		100
計		0	2	18	88	0	8	12	91

1. 桐生織物協同組合（広幅協議会）

★ 商品、消費者ニーズの変化について

輸出向け織物は、全般的に金糸織物の減少がみられたが、レーヨン化合織の交織織物の生産がつづいている。

内需向け織物は、依然として小ロット短サイクルの受注である。流行が一部麻織物レーヨンなどの天然繊維に移っている。

★ 状況、事業概要

輸出向け織物は依然として厳しい環境にあるが、平成4年1月～12月の生産高は数量で前年比95.1%、金額で97.8%であった。今後為替の動向（円高）如何によっては更に厳しい局面となろう。

内需向け織物は、順調にスタートしたが、後半から不況感が強まり平成4年1月～12月の生産高は数量で78.5%、金額で96.2%であった。品種でみると婦人服地寝装品が伸びてインテリア、資材、ネクタイ地が減った。

2. 桐生織物協同組合（内地協議会）

★ 商品、消費者ニーズの変化について

紋着尺は、織りに後加工やしぼりを加えたカジュアル向きのものが中心。袋帯は、佐賀錦が中心である。黒共帯は喪装セットが伸びている。ゆかた帯は前半は好調であった。

★ 状況、事業概要

和装織物類の平成4年1月～12月の生産状況をみると、しばらく騰勢の続いたものが、ここにきて金額で5%の減少をみた。バブルの影響が出はじめており、後半になるほど厳しい状態になった。

帯は数量は維持できたものの金額では減少し、したがって低額品（ゆかた帯など）の比重が高まったものと思われる。

着尺、金らん生地は数量金額ともに10%減であった。その中において服飾工芸品は、数量金額ともに増加し、これからが期待される品種である。

3. 桐生織物協同組合（広幅・内地共通）

★ 状況、事業概要

海外見本市事業（中近東地区など5ヶ所）、広幅国内見本市事業（大阪）並びに、和装織物新販路開拓事業、移動販売会事業（東京、京都で6回）総合展事業を実施した。

労働力確保法にもとづく事業としては、雇用環境改善事業、採用活動改善事業、優良従業員表彰事業等を実施し、伝統的工芸品桐生織振興事業では、後継者研修、技術保

存、その他の事業を行った。

研究座談会、展示会出品、先進地視察、実態調査、親睦事業等、多面的に実施した。

協業会、青年会も活発に事業を展開している。又織物手帳、機関紙・桐生だよりの発行を行っている。織物、染色整理、流通の三業種で進めてきた、自主検査機関として協同組合桐生織物検査機構が設立された。

★ 今後の課題

不況の折、国内外の景気回復が待たれるが、その中に特に当輸出業界としては、為替レートの適正值での安定が望まれており、織機登録制の廃止を前にこれの対応が迫られている。

今日まで蓄積されている技術や情報を、桐生地域繊維産業活性化調査報告書の結果と結合させ、産地の再構築を真剣に考える時期に来ていると思われる。

4. 桐生織物商業協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

消費者は良品廉価を求める傾向が強くなり、反面、以前の様にブランドにはこだわらぬが、一方で个性的要求も強く消費に際しシビアになった。

★ 状況、事業概要

輸出はドル安、ヨーロッパ通貨安により益々苦戦し、加えてアジア・ニューズ諸国等の追上げも従来以上にあり、先行き厳しい状況が今後も続くと思われる。

内需はこのところ続いていたアセレーヨン風通服地の需要一巡と流行の変化（天然繊維に戻つつある傾向）により、9月頃よりかげりが、そして年末には決定的悪化を示した。

又、比較的仕掛け台数の多かったアクリルブランケットも4年目と言う事もあり、各品種に亘り値崩れをおこした。以上2品種が桐生の代表的量産品である関係から、この不振は桐生産地に大打撃を与えて、来期以降深刻な局面を産地にもたらすものと思われる。

★ 今後の課題

一にも二にも商品開発。これは内外需を問わず絶対的な必要条件である。これ以外に桐生産地を活性化させる方策はないと言い切っても過言ではない。

次に、撚糸等準備行程と染色等の後加工の問題解決が必要であり、織技術の優秀さを誇るだけでなく、この2点を解決せずして産地振興は図れぬものと理解しており、これの実行が今後の最大課題であると思われる。

又、輸出織物に関して言えば織協と商協がもっと協力する中で減少傾向に歯止めをかけたい。

5. 桐生織物産地元売協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

- (1) 帯価格30%生産縮小している
- (2) 着尺先染商品に消費者の要望少なく趣味的商品となる傾向が見られ
生産減少をたどる思い切った生産システムの変化が必要となる
- (3) 染加工品はデザイナーの力によってこれから伸びる要素がある

★ 状況、事業概要

バブル崩壊のため、一般消費者の高額品離れと必需品以外ぜいたく品のきもの関係は取扱量の減少と共に、価格も主力商品の帯が西陣の暴落にともない価格の値下がりがおきている。

夏ゆかた帯も生産拡大のため、価格乱高下が予想され、これからの生産調整を必要とするだろう。

★ 今後の課題

いままでの過去のシステムを繊維業界全体で改革する必要あり、特に和装関係は取引金融手形（180～210日）並びに商事部の取引内容及び買継商友会の取引商品内容の分析が必要と共に、メーカー自身が将来に対して、しっかりした商品ビジョン（産地特性）の構築が必要となり、流通販売グループも新しい時代に即応した、取引契約ルールを厳守したいと思っている。

6. 両毛輸出織物整染工業組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

合繊織物の輸出は不振だが、内需の婦人服地ものは順調との見方もあるが、平成景気の低迷から、新年早々より加工受注の減少化傾向に入った。

★ 状況、事業概要

個人消費が伸び悩むなか好調な商品が見られず、全般的に動きが少なくなっている。加工賃は大きな変化はないが、やや弱気含みとなっている。受注の小ロット化がすすんでおり、コストアップの要因となっている。

★ 今後の課題

輸入品が多い繊維製品の圧迫から、染色整理工場の生残り策は定番品はアジア諸国でと言う、住み分けが好むと好まざるとに係わらず進行している中で、繊維産業を取り巻く環境変化に的確に対応し、業界の活力を再構築し、新しい機能と設備をもった施設に再整備して行くことが望まれる。

7. 桐生染色協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

我が国の経済全体が不況感を募らせており消費者の個性化指向に加え、品質、価格面共に慎重になり買控え等もみられるところから、より一層高度の染色技術が求められている。

★ 状況、事業概要

平成4年中は我が国全体に不況感が漂い染色業界でも加工数量の減少、ロットの小口化が目立った。輸出関連は円高基調、その他海外の状況は不透明のことから染色加工数量も漸減傾向であった。

★ 今後の課題

- (1) 染色加工品の小口化対策
- (2) 後継者問題、従業員の老齢化、人材の確保等
- (3) 排水処理、煤煙等の公害対策

これらを解決するため引続き職場環境の整備、機械化等による技術の向上、省力化が必要であるが、今後の課題は極めて多い。

8. 桐生糸商組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

高級品の需要減退の中で低価格良品質の物が求められており、原料要求も同様で従来より素材変化が一段と進むようである。

★ 状況、事業概要

婦人服地は好調に推移したが、全般では秋口より大巾な売上減になっている。

★ 今後の課題

糸商、関連加工場における労働時間の短縮、高齢化等の問題の改善を業界全体で研究・推進したい。

9. 東日本編レース工業組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

バブルの崩壊でカーテンレースは高級品やオーダーカーテンがモロに影響を被り、かなり落ち込んでいる。また、バブル崩壊を機に消費者の選別の目が一段と厳しくなってきた。つまり、バブル以後は、消費者は高級品やブランド商品であれば良いといった方向から、真の価値を要求する方向に変わってきており、購買姿勢も慎重になってきて、レースカーテンについてはオーダーカーテンの顧客が既製カーテンの方に移行、反面その単価がダウンする結果となった。

★ 状況、事業概要

編レース業界は、今後の激変する情勢に組合員企業が対応して生き残っていくには、設備制限という現状固定的な仕組みの上に企業経営をゆだねることへの疑問、組合財政基盤維持の中心に設備の登録制を据えていることが、将来的に適切であるか等、種々の疑問を検討した結果、当組合では平成4年10月末日をもって設備登録制度を廃止した。

我が国経済が急速に国際化していく中で、繊維産業をとりまく内外環境は大きく変化しており、また、当編レース業界も例外ではない。

この環境変化に対応して、それぞれの生産態勢や取引形態その他業界意識を変革しなければならない時期を迎えている。

最近の環境変化の対応諸点は概ね次のようになる

- (1) 生産段階において、多品種、短サイクル、小ロット化に対する生産態勢の対応
- (2) 取引構造の変化に対する対応
- (3) 後継者及び人材の養成

当組合として、これらの対策として、取引適正化委員会、業界活性化協議会を連合会の主催にて全国規模にて実施している。

★ 今後の課題

- (1) 技術水準の向上

編レース生地用途の拡大を期待して、土木資材、農業資材等の研究
超無燃カーテン、無機質カーテン、機能カーテン等の研究

- (2) 産地のイメージアップ
- (3) 組合事務局体勢の強化

10. 桐生撚糸工業組合

★ 状況、事業概要

絹糸は安い輸入糸が入ったり和装製品の不調から落込みが大きい。

他は繊維製品全般の長期低落傾向で受注不安定な状況である。

11. 桐生織物整経協同組合

★ 状況、事業概要

消費者ニーズの多様化、受注の多品種、小ロット化と織物業界の構造上の変化に伴い、従事員高齢化による、技術の対応に苦慮している。

★ 今後の課題

織物業界を取り巻く環境は一段と厳しくなり、製品単価の低下、従業員不足が憂慮されている。

12. 桐生意匠協同組合

★ 状況、事業概要

事業主の高齢化により、仕事量が減少しているなか、個々の努力で1割減にとどまった。

仕事の製造工程の変化にともない各企業間の格差が少しづつ出て来た。

13. 桐生繊維製品協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

高級化指向から、高品質低価格へと急激に変化した。

★ 状況、事業概要

世界的な不況の中で、国内の消費不振によるメーカーの製造品抑制が発注量の激減となって、近年稀にみる深刻な打撃を被った。

★ 今後の課題

- (1) 他産地や海外諸国との競争を有利に展開して行くための短納期化の推進とそのための技術開発
- (2) 高付加価値加工の研究
- (3) 企画提案型企业となるための能力向上策
- (4) 消費者ニーズ、外部環境の変化把握のため、情報収集活動の展開

※平成4年11月17日付で桐生繊維製品協同組合と桐生婦人子供服製造協同組合の2つの縫製組合が合併し、新生桐生繊維製品協同組合としてスタートした。

14. 桐生刺繍商工業協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

平成3年4月より受注・販売額共に急激に減少、最近の状態でも変わらずこの状態が続いている。

消費者ニーズは一品主義に変化し大量消費は期待できない傾向にある。

★ 状況、事業概要

減少下げ止まらず。

★ 今後の課題

- (1) 零細企業が多い為、情報交換、親睦の場として、未加入者への組合加入の増進を積極的に推進していく
- (2) 技術者の養成等、技術研修を行う
- (3) 展示会等を積極的に展開する
- (4) 青年部（後継者）の養成を図るとともに人材育成を推進する

15. 桐生テキスタイル商業グループ

★ 商品、消費者ニーズの変化について

不況ムードによる小売段階での不振がアパレルの企画を大きく迷わせ、生地を企画提案する問屋の多品種化に拍車をかけている。

依然として化合繊、複合素材傾向が変わらず、その面では産地の特色が有利になっている。

★ 状況、事業概要

- ・強燃糸、複合素材を主軸にした商品傾向はこの3～4年依然変わらず、桐生産地には最適な商品指向であった。
- ・原糸の加工（燃糸）生産スペースの限度から受注は好調に推移した一年であった。
- ・受注引合があっても、生産面での前述の限度から先物受注（5～6ヶ月先）となった一年であったが、11月後半より不況ムードの中、カゲリ気味となってきた。

★ 今後の課題

- ・小売店、アパレル（既製服業者）生地問屋と不況の影響で軒並み減収減益の中、桐生の得意商品「アセレーヨン風通ジャカード織」も行きわたり、新鮮さがなくなり、平成5年度は新コルテーの開発提案が桐生産地の盛衰の鍵となる。
- ・幸い流行の傾向は、桐生産地向きである事には変わりないため、商品開発次第では天然繊維産地にみられる惨状はないと思われる。

桐生市繊維振興協会加盟団体名簿

団 体 名	代 表 者 名	所 在 地	電 話
桐 生 織 物 協	小 林 松	桐生市永楽町5-1	43-2511
桐生商工会議所繊維部会	佐 藤 富 三	” 織姫町2-5	45-1201
桐 生 織 物 商 業 協	篠 田 久	” 元宿町3-20	46-3415
桐 生 織 物 産 地 元 売 協	丸 山 隆 司	” 永楽町6-6	22-9120
両毛輸出織物整染(有)	朝 倉 融	” ”	22-2775
桐 生 染 色 協	塚 本 祐 平	” ”	22-9661
桐 生 織 維 製 品 協	関 口 幸三郎	” 永楽町5-1	46-2310
桐 生 糸 商 組 合	川 村 治 朗	” 仲町3丁目15-6	44-4171
東日本編レース(有)	小 堀 文 男	” 永楽町6-6	22-3847
桐 生 撚 糸 (有)	田 中 堯	” 稻荷町4-29	44-9431
両毛輸出スカーフ組合	古 谷 恒	” 浜松町2丁目8-20	44-1771
桐 生 織 物 整 経 協	高 久 勇 雄	” 永楽町6-6	22-9184
桐 生 意 匠 協	柘 植 洋 二	” ”	22-7088
桐 生 紋 紙 協	岩 崎 万 雄	” ”	22-5854
東毛ジャガード刺繍協	西 村 千 春	” 新宿3丁目7-34	43-1166
桐 生 刺 繍 商 工 業 協	村 田 永 昌	” 永楽町6-6	22-7919
桐 生 金 銀 糸 協	今 西 洋 右	” 巴町2丁目1,832	22-8539
桐 生 織 物 買 継 商 友 会	小 沢 圭 正	” 広沢町2丁目3125-53	54-0030
群馬県綿スフ織物(有)	小 林 松	” 永楽町5-1	43-2511
(協)シルク・ルネッサンス桐生	青 木 軍 次	” 広沢町4丁目2423-1	54-2584
桐生テキスタイル商業グループ	木 島 清	” 相生町5丁目13-4	52-4125